



平成 30 年度

# わかりやすいかさまの予算

文化交流都市 笠間～未来への挑戦～

地域医療センターかさま



## はじめに

平成30年度は、「第2次笠間市総合計画～未来への挑戦～」による文化交流都市の実現に向けた本格的な実施時期となります。人口減少・少子高齢化といった構造的課題に対応するため、これまでも部課横断により様々な施策を進めてまいりましたが、市民の日常生活の利便性の維持と向上、担い手となる人材の確保といった課題に対応していくためには、取組の見直しを含めた、更なる挑戦が必要となります。

事業検討にあたっては「仕組みの改革による成長する笠間づくり」を重点課題として設定し、地域を担う人材の育成及び確保、地域の魅力と成長につながる産業の支援、生活と経済の双方に好影響を与える場の創出という「ひと・まち・もの」の3つの視点に立って、事業のビルド・アンド・スクラップによる事業見直しを行いました。これにより、平成30年度は、笠間市第2次総合計画の7つの柱に即した90事業を重要事務事業として選定し、本市の将来像である「文化交流都市」の実現を目指してまいります。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしていきますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成30年3月

笠間市長 山口伸樹

# 目 次

I	予算の概要	1
II	重要事務事業	2
	地域を担う人材の育成及び確保	2
	地域の魅力と成長につながる産業の支援	4
	生活と経済の双方に好影響を与える場の創出	6
	重点課題以外の重要事務事業	7
III	平成30年度重要事務事業一覧	9
IV	各会計の予算額	11
	一般会計	11
	国民健康保険特別会計	15
	後期高齢者医療特別会計	15
	介護保険特別会計	16
	介護サービス事業特別会計	16
	農業集落排水事業特別会計	17
	公共下水道事業会計	17
	病院事業会計	18
	水道事業会計	19
	工業用水道事業会計	19
V	ビルドアンドスクラップによる廃止事業及び内容を見直した事業等	20
VI	基金の状況	21
VII	市債の状況	23
VIII	合併特例債の使い道	25



# I. 予算の概要

平成30年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は526億1,397万6千円であり、前年度と比較すると34億6,069万円（6.2%）の減となっています。

一般会計の14億円（4.5%）の減と国民健康保険特別会計の19億9,900万円（19.5%）の減が主な要因となっています。



笠間のいな吉®

## 【平成30年度会計別予算状況】

（単位：千円,%）

会計名	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	29,550,000	30,950,000	▲ 1,400,000	▲ 4.5
特別会計	16,212,000	20,533,520	▲ 4,321,520	▲ 21.0
国民健康保険特別会計	8,234,000	10,233,000	▲ 1,999,000	▲ 19.5
後期高齢者医療特別会計	805,000	743,000	62,000	8.3
介護保険特別会計	6,381,000	6,252,000	129,000	2.1
介護サービス事業特別会計	18,000	19,200	▲ 1,200	▲ 6.3
公共下水道事業特別会計	-	2,488,000	▲ 2,488,000	-
農業集落排水事業特別会計	774,000	753,000	21,000	2.8
岩間駅東土地区画整理事業特別会計	-	45,320	▲ 45,320	-
企業会計	6,851,976	4,591,146	2,260,830	49.2
病院事業会計	852,617	2,145,402	▲ 1,292,785	▲ 60.3
収益的支出	838,472	772,000	66,472	8.6
資本的支出	14,145	1,373,402	▲ 1,359,257	▲ 99.0
水道事業会計	2,299,912	2,416,613	▲ 116,701	▲ 4.8
収益的支出	1,768,574	1,837,242	▲ 68,668	▲ 3.7
資本的支出	531,338	579,371	▲ 48,033	▲ 8.3
工業用水道事業会計	28,915	29,131	▲ 216	▲ 0.7
収益的支出	28,915	29,131	▲ 216	▲ 0.7
資本的支出	0	0	-	-
公共下水道事業会計	3,670,532	-	3,670,532	-
収益的支出	1,860,283	-	1,860,283	-
資本的支出	1,810,249	-	1,810,249	-
合計	52,613,976	56,074,666	▲ 3,460,690	▲ 6.2

※公共下水道事業特別会計は、平成30年度より企業会計へ移行します。

※岩間駅東土地区画整理事業特別会計は、平成29年度をもって廃止しました。

### いな吉メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業をする時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算性方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計

特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計

企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計

## Ⅱ. 重要事務事業

＞ 笠間市第2次総合計画 2017～2026  
 [将来像] 文化交流都市 笠間 ～未来への挑戦～

＞ 笠間市創生総合戦略  
 ○人口減少の抑制と「笠間らしさ」の確立  
 ○「ひと・まち・もの」による都市モデルの確立

### 平成30年度 重点課題

仕組みの改革による  
 成長する笠間づくり  
 ～公民連携による人材の育成  
 ・確保と経済循環の創出～

ひと 地域を担う人材の育成及び確保

まち 地域の魅力と成長につながる産業の支援

もの 生活と経済の双方に好影響を与える場の創出

### ○主な重要事務事業

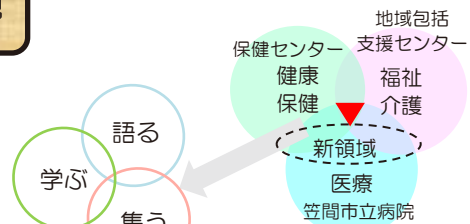
#### ひと 【地域を担う人材の育成及び確保】

人口減少、少子化・高齢化という構造の変化が、市民生活に影響を及ぼすことを防止するため、市民、交流者、企業等との連携により、Uターンの促進といった人の流れの創出をはじめ、結婚から子育てまでを含めた支援の充実、将来を担う子どもたちの教育環境の向上、医療、保健、福祉の連携強化、産業や担い手育成・確保といった取組を、経済や拠点づくりといった施策と連動して推進します。

#### 「地域医療センターかさま」の機能強化

新規

平成30年4月より市立病院・保健センター・地域包括支援センター・病児保育室などを併設した「地域医療センターかさま」のオープンに伴い、多職種による連携・協働体制の機能を強化し、地域完結型の医療・保健・福祉の包括ケアを推進します。



～多様な人達が訪れる場所へ～

22,494千円

#### 妊娠・出産～子育て期における切れ目ない支援

拡充

安心して子どもを産み育てることのできる地域づくりを目指します。子育て世代包括支援センターみらいを中心に、相談や情報の提供、交流の場づくりなど、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制の取組を進めるとともに、産後の健康管理の充実を図るため産婦健診の助成を行います。また、少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図るための不妊治療費の補助や、生涯にわたり健康な生活が送れるよう乳幼児期からの食育活動を推進します。



72,219千円

**保育の質の向上**  
(保育支援者の配置による保育士負担軽減) **新規  
拡充**

児童に安心安全な保育環境を提供するために、保育士の労働環境の改善に取り組むとともに、資格を有しない方の雇用への支援を行い、保育士の負担軽減を図り、将来的には保育士として勤務することも目的としています。

8,150千円

**女性の活躍応援**  
(働き方・子育てスタイルの提案) **新規  
拡充**

自分らしい働き方や子連れでの活動を楽しむことができる地域づくりを進めるため、公民連携による子育てスタイルの提案につながる取組を推進します。

1,601千円

**ひとり親家庭等の就業支援**  
(高等職業訓練費の助成) **拡充**

母子父子家庭の母又は父が就業に結びつきやすい資格取得を促進させることを目的に、養成機関で修業している期間において訓練促進費を助成します。

6,000千円

**かさま健康歩イント事業の実施**  
(ヘルスデータの測定・管理) **新規**

生活習慣病の予防を目的とし、身近で手軽、そして継続的に取り組める運動習慣としてウォーキングの定着を図るために、ウォーキングポイント事業を開始します。

1,966千円

**人間ドック、脳ドック受診の推奨**  
(国民健康保険加入者を対象とした受診料の助成) **拡充**

疾病の早期発見・早期治療による医療費の削減へつなげることを目的とし、人間ドック、脳ドック受診の補助を行い、健康保持増進を図ります。

20,250千円

**障害者地域生活支援の強化**  
(発達障害児支援：  
親子通園教室開催回数の拡充) **拡充**

地域の特性や利用者の状況に応じて実施する障害者地域支援事業で、発達に遅れのある就学前の児童とその親への支援を行う「親子通園教室」の開催回数を増やします。

70,571千円

**就学前教育アドバイザー配置**  
(発達障害児等の早期発見・早期対応) **新規**

臨床発達心理士による市内の幼児教育施設の巡回相談を通して、特別な教育的支援が必要な幼児の早期発見・対応により、就学前教育の充実を図ります。

2,446千円

**特別支援教育支援員の配置**  
(教育的配慮が必要な児童に対する支援員配置) **拡充**

教育的配慮が必要な児童に対し、学校生活における一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うため、市内の小中学校に特別支援教育支援員を配置します。

38,175千円

【地域を担う人材の育成及び確保】

## 【地域の魅力と成長につながる産業の支援】

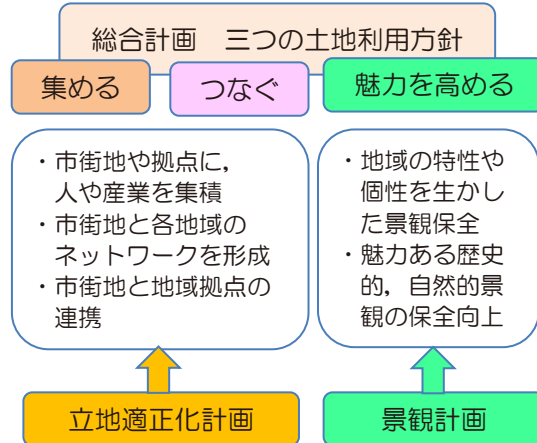
活発な交流と拠点機能の強化を図るとともに、空家や空地を含めた既存ストックの適切な管理と活用を進めるため、整備や運営における公民連携を推進しながら、土地利用構想を踏まえた拠点機能の強化策、移動手段の向上策、歴史・文化的資源の保存と活用策といった取組を、人材の育成・確保や経済施策と連動して推進します。

### 立地適正化・景観形成の推進 (立地適正化計画策定・景観計画策定)

新規

第2次総合計画における土地利用方針に基づき、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの都市構造による、「都市機能の集約と連携のまちづくり」及び地域の景観保全と景観を生かしたまちづくり推進による、「良好な景観による魅力ある都市づくり」に取り組めます。

12,667千円



### 包括的な空家・空地政策の推進 (管理不全対策、空家・空地バンク、利活用促進、中古住宅等流通促進)

新規  
拡充

「笠間市空家等対策計画」に基づき、管理が不十分な空家等に対する適正管理の促進と利活用が可能な空家に対する空家バンク制度の推進を図ります。また、平成30年度からの新たな取組として「空家バンク登録物件流通促進事業」の創設のほか、空家バンク制度に空地を加えた「空家・空地バンク制度」及び「空家解体撤去補助金」を拡充します。

29,549千円



「笠間市空家解体撤去補助金」を利用して解体した空家

### 生活道路の整備 (狭あい道路解消・維持修繕等) ・幹線道路の整備

市内の生活道路で幅員が狭い道路の拡幅整備や幹線道路等の整備を行います。

849,890千円

### 地域活動拠点の交流拡大 (「福ちゃんの森公園」運営開始、地域交流センターともべ「トモア」・いわま「あたご」)

新規  
拡充

地域交流センターともべや地域交流センターいわまに加え、平成30年度から福ちゃんの森公園の管理運営を行います。

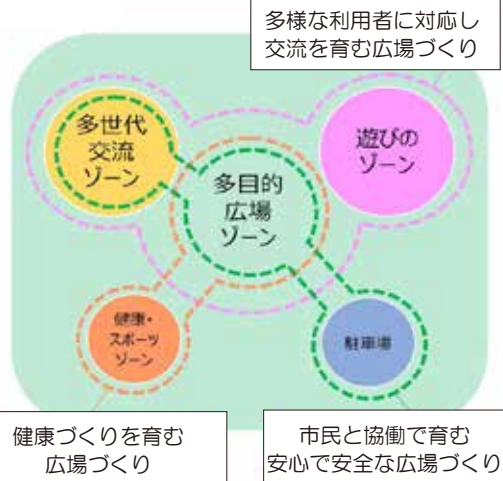
69,956千円



**畜産試験場跡地の利活用促進**  
(利活用促進・多目的広場の整備)

民間企業や大学など幅広い対象に、物流・生産機能、商業機能や住宅機能、もしくはそれらを含めた複合的な利活用について、茨城県と協議を行いながら進めます。また、より多くの世代や様々な用途に利用できる多目的広場の整備を進めます。

11,085千円



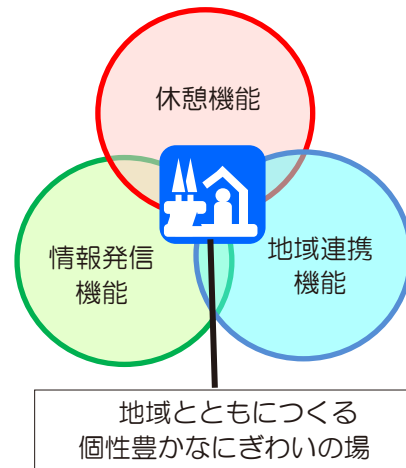
多目的広場 機能イメージ図

**道の駅整備事業の推進**

新規

道路交通の円滑な流れを支えるため、また、一般道でも安心して自由に立ち寄ることができる快適な空間、地域の観光・歴史・交通などの情報とあわせ、笠間ならではの個性豊かなサービスや地場製品の提供を行うことにより、地域経済の活性化と観光や地域産業の好循環を目的とした「道の駅」の整備を進めます。

455,205千円



道の駅コンセプト

**笠間稲荷周辺まちづくりの推進**  
(かさま歴史交流館井筒屋の運営、周辺整備)

新規  
拡充

平成30年4月開館の「かさま歴史交流館井筒屋」を、観光の拠点及び地域の交流の場として活用するとともに、2階を笠間の先人や笠間城に関する展示を行う歴史展示コーナーとし、郷土愛の醸成、新たな笠間の魅力発信等を図ります。また、井筒屋周辺を散策できる遊歩道を設置し、自然、歴史、芸術などに触れ合えるエリアに整備することにより、交流人口の増加やにぎわい創出を図ります。

81,546千円

**生涯活躍のまち構想の推進**  
(笠間版CCRC)

社会減少及び高齢化が進む中でのみまちづくりに資するため、高齢層だけではなく若年層にも、将来に向けて期待と安心を与える「笠間暮らし」を提供するコミュニティ（笠間版CCRC）の形成に向けた取組を産学官連携により推進します。

13,908千円

【生活と経済の双方に好影響を与える場の創出】



## 【生活と経済の双方に好影響を与える場の創出】

農業、製造業、小売業、医療・福祉といった成長も期待できる本市の産業の活性化に向けて、既存企業等の支援強化から交流人口の増加策を経済の活性化につなげていく必要があります。そのため、企業誘致の推進をはじめ、農業も含めた事業継承の支援、地場産業の販路拡大、日常生活を含む空間の文化を生かした新たなツーリズムの推進といった取組を、民間が生み出すアイデアを積極的に取り入れかつ重点的に支援する体制を整え、人材の育成・確保や拠点づくりといった施策と連動して推進します。

### 立地企業の拡大支援強化

拡充

市内への企業立地を促進し、地域産業の活性化及び雇用機会の創出を図るため、立地企業への助成を行います。今年度からは新たに下水道料金に対する支援を行います。

14,400千円

### 笠間焼作家の育成支援

(若手陶芸作家への貸工房提供等)

新規

若手陶芸作家の育成支援のため、陶芸大学卒業生や市内で陶芸家として創業を目指す方を対象に、窯元から施設を借り上げ、技術の習得の場を提供する「笠間陶芸修行工房」を創設します。

3,956千円

### 事業承継支援の強化

(商工業の事業承継促進、農業担い手の育成支援、人材マッチングの促進)

新規  
拡充

次世代へのスムーズな「事業承継」に向けた相談窓口の設置、実態把握、担い手の育成等を進めるとともに、人の流れの創出にもつながるマッチング事業を施策連携を図りながら進めます。

15,014千円

#### 商工業

相談窓口の設置  
セミナーの開催  
実態把握の推進 等

#### 農業

就農研修  
機械等整備の支援  
樹園地活用の支援 等

人材マッチング  
東京圏からの  
人の流れの創出

#### 事業承継の推進

地域経済の活性化・地域の文化の承継

### 創業支援の推進

(ものづくり作家創業支援・クリエイティブ層の誘致等)

拡充

創業支援事業計画に基づき、相談窓口の設置や創業塾を開催するなど、創業希望者に対する支援や、ものづくり作家への支援を行い、商工業の活性化を図ります。

7,048千円

#### 創業希望者への支援

・相談窓口の設置  
・創業塾の開催

#### ものづくり作家への支援

・相談、情報提供等  
・補助金の交付  
(家賃/不動産購入/創作施設修繕/設備購入)

「芸術のまち」のイメージづくり

雇用の創出・商工業の活性化

### 地元企業人材確保の支援強化

(インターンシップ促進、企業向けセミナー、学生マッチング強化等)

拡充

市内事業者への就職を促進するため、企業向けセミナーや学生マッチングフェア、企業訪問バスツアーなど包括的なアプローチにより事業者と学生をつなぐ事業を推進します。

20,991千円

### 台湾交流事務所の設置

(台湾からのインバウンド・アウトバウンド促進強化)

新規

さらなる国際交流の推進を図るため、台湾に事務所を設置し、インバウンド誘客・アウトバウンド訪台を進め、笠間市への来客数の増加を目指し市内の活性化を図ります。

16,048千円

**日本一の栗の産地づくりの推進**  
(品質・商品・体制の確立)

市の代表的な地場産品である「栗」の生産拡大を図り、品質・商品の体制などを確立することにより、名実ともに「日本一の栗産地」を目指します。

31,654千円

**地場農産物等のブランド力の強化**

市内で生産される優れた農産物や加工品のブランド化や地産地消に取り組み、付加価値化による農家所得の向上や生産意欲の増進、笠間市産農産物の知名度向上につなげ、地域農業の競争力強化及び発展を図ります。

8,382千円

【地域の魅力と成長につながる産業の支援】

【重点課題以外の重要事務事業】

**ペットの適正飼育の推進**  
(犬・猫の不妊去勢手術費の補助)

新規

「人と動物との調和のとれた共生社会の実現」を目指し、犬猫など愛玩動物の飼い主に対するマナー向上や、茨城県動物指導センターへの収容頭数の削減に向けた取組を実施します。

1,144千円

**農業国際交流の推進**  
(ベトナムからの研修生受入れ)

新規

ベトナムからの地方自治体等の職員を「協力交流研修員」として受け入れ、日本の地方自治体のノウハウ・技術の修得を図るとともに、協力を通じて地域の国際化を推進します。

3,638千円

**地域の鳥獣被害防止活動の促進**  
(電気柵・防護柵購入補助、捕獲活動補助等)

拡充

近年増え続ける鳥獣被害に対し、電気柵や防護柵等の設置費用の助成や一般市民の方を対象としたわな猟の免許取得等を助成し、地域の住民による捕獲活動を推進します。

25,263千円

**災害対策の強化**  
(原子力災害発生時を想定した避難訓練の実施、防災用資機材倉庫の建設)

新規

災害時において、迅速かつ適切な活動が行えるよう、防災用資機材倉庫を設置するとともに、防災関係機関の連携の強化を図り、市民の防災意識を高める事業を実施します。

6,877千円

**地域消防力の向上**  
(消防団詰所や消防団ポンプ車両の計画的な整備)

拡充

災害時における迅速かつ効率的な運用と機動力の向上を図るため、車両の更新や消防団の詰所の建設を行います。

66,729千円

**働き方改革の推進**  
(マネジメント能力強化、人材育成推進、モバイルワークの検討、日直業務の改善・見直し)

新規  
拡充

限られた職員数・時間・予算のなかで、社会経済情勢の変化に対応したサービスを市民に提供するため、職員の能力を最大限発揮できるよう、より実践的な取組を行います。

5,288千円

小・中学校（義務教育学校）  
校舎等の環境向上の推進

新規

学校環境の向上を図るため、市内全中学校へのエアコン設置のための実施設計や友部第二中学校の改修工事、みなみ学園義務教育学校校舎の実施設計を行います。

384,516千円

明治150年記念事業  
（企画展の開催）

新規

平成30年は、明治元年から起算して満150年の年に当たることから、その歩みを次世代に伝えるため、明治期における笠間の資料を用いた企画展等を開催します。

1,487千円

東京オリンピック・パラリンピック  
ホストタウン構想推進  
（機運醸成・相互交流の推進）

拡充

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図り、地域の活性化を推進します。

4,244千円

スポーツ国際交流の推進  
（エチオピア連邦民主共和国のスポーツ  
国際交流員を採用したスポーツ指導）

新規

スポーツ国際交流員を活用し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウン事業の推進やジュニアアスリート等の競技力向上に向けた取組の強化を図ります。

2,971千円

ユニバーサルデザインの  
まちづくり推進  
（意識醸成・公共施設整備への反映）

新規

「すべての人が生活しやすい社会のデザイン」という広い概念をもつ「ユニバーサルデザイン」の考え方を導入したまちづくりを推進します。

404千円

公共建築物中期資産  
管理計画の策定  
（再編・最適化、長寿命化）

拡充

公共施設等の総合的な管理の推進に向け、公共建築物の再編・最適化及び、公共施設等の長寿命化の推進に資するための中期資産管理計画を策定します。

9,804千円

市役所本庁舎大規模改修の  
実施【設計】

新規

建築後、36年を経過する本庁舎の議会行政棟を改修するため、庁舎改修工事に向けた庁舎改修設計業務を行います。

21,973千円

市民センターいわま大規模改修の実施

建築後、約22年を経過する市民センターいわまの大規模改修工事を実施します。平成29年度からの継続事業となります。

347,619千円

【重点課題以外の重要事務事業】



# Ⅲ. 平成30年度重要事務事業一覧

(単位：千円)

政策	事業名	重点課題	事業費	
第1章 都市基盤	立地適正化・景観形成の推進（立地適正化計画策定・景観計画策定）	まち	12,667	新規
	公共交通の充実 （路線バス、観光周遊バス、スクールバス、デマンドタクシーの運行及び再編検討）	まち	244,253	
	包括的な空家・空地政策の推進 （管理不全対策、空家・空地バンク、利活用促進、中古住宅等流通促進）	まち	29,549	新・拡
	笠間市「道の駅」整備の推進	まち	455,205	新規
	笠間稲荷周辺まちづくりの推進（かさま歴史交流館井筒屋の運営、周辺整備）	まち	81,546	新・拡
	畜産試験場跡地の利活用促進（利活用促進・多目的広場の整備）	まち	11,085	
	安居工業地域の整備（排水計画検討）		5,262	
	生活道路の整備（狭あい道路解消・維持修繕等）・幹線道路の整備	まち	849,890	
	友部駅周辺の道路景観構想の検討及び策定（無電柱化の促進・道路景観の向上）		6,000	新規
	市内インフラの長寿命化等の推進（上水道・下水道・橋梁）		360,187	
	水道事業経営の強化（料金徴収等の包括的業務委託の推進）		82,969	
	生活排水の適正処理の推進 （公共下水道・農業集落排水の整備・接続支援、合併浄化槽設置補助）	まち	758,345	
	第2章 生活環境	ペットの適正飼育の推進（犬・猫の不妊去勢手術費の補助）		1,144
自然を守る市民活動の推進（自然体験学習、環境美化活動の推進）			590	
一般廃棄物処理基本計画の推進（効率的なごみ処理体制の確立）			157	新規
分別収集の推進（高齢者等のごみ出し負担軽減）			659	
洪水被害避難対策の推進（笠間市洪水ハザードマップ等による啓発）			-	
災害対策の強化（原子力災害発生時を想定した避難訓練の実施、防災用資機材倉庫の建設）			6,877	新規
地域防災力の向上（自主防災組織の育成支援、防災士の育成支援）			724	
地域消防力の向上（消防団詰所や消防団ポンプ車両の計画的な整備）			66,729	拡充
消防隊員の士気高揚及び技術力強化（訓練等実施体制の強化）		-	拡充	
第3章 健康・福祉	「地域医療センターかさま」の機能強化（医療・保健・福祉連携強化） 〔センター内設置組織〕市立病院、保健センター、健康増進課、地域包括支援センター ▽在宅医療・介護連携の推進 ▽地域医療センターかさま病児保育の実施 ▽ファミリー健康体験、みんなの相談室～メディカルCafe～、講演会開催	ひと	22,494	新規
	筑波大学附属病院との連携推進（指導医派遣・研修生受入）	ひと	25,000	
	平日夜間・日曜初期救急診療の実施		18,870	
	住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供に向け体制づくり（地域包括ケアシステム）	ひと	10,484	
	地域リハビリテーション活動の支援 （運動機能強化・維持及び介護予防に向けた、リハビリテーション専門職による相談・指導）	ひと	155	
	認知症の早期発見・早期対応 （認知症カフェ・相談会・認知症初期集中支援チームの展開）	ひと	747	
	妊娠・出産～子育て期における切れ目ない支援 （特定不妊治療費助成、各種健康診査・相談、産後ケア、産前産後サポート、食育等）	ひと	72,219	拡充
	保育の質の向上（保育支援者の配置による保育士負担軽減）	ひと	8,150	新・拡
	子育て世帯の費用負担の軽減 （医療福祉費支給・自己負担金助成・小児インフルエンザ接種費用の一部助成）	ひと	550,850	
	放課後児童クラブの充実		205,439	拡充
	ひとり親家庭等の就業支援（高等職業訓練費の助成）	ひと	6,000	拡充
	各種検診・がん検診の推奨及び特定健康診査、健康指導	ひと	125,903	
	人間ドック、脳ドック受診の推奨（国民健康保険加入者を対象とした受診料の助成）	ひと	20,250	拡充
	受動喫煙防止対策の推進（分煙施設の整備）		5,620	新規
	かさま健康歩イント事業の実施（ヘルスデータの測定・管理）	ひと	1,966	新規
	介護予防・生活支援サービスの提供（訪問型サービス・通所型サービス）		147,572	
	児童発達支援センターの設置に向けた検討（保健・医療・障害福祉・保育・教育等連携）		-	新規
障害者地域生活支援の強化（発達障害児支援：親子通園教室開催回数の拡充）	ひと	70,571	拡充	
生活困窮者自立支援・生活保護の適正化	ひと	24,216		

政策	事業名	重点課題	事業費	
第4章 産業	企業誘致の強化	もの	1,637	
	立地企業の拡大支援強化	もの	14,400	拡充
	創業支援の推進（ものづくり作家創業支援・クリエイティブ層の誘致等）	もの	7,048	拡充
	地元企業人材確保の支援強化（インターンシップ促進、企業向けセミナー、学生マッチング強化等）	もの	20,991	拡充
	中小企業の市民雇用創出促進補助	もの	6,000	
	事業承継支援の強化 ▽ 商工業の事業承継促進（セミナー等の開催） ▽ 農業担い手の育成支援（研修、機械等整備、樹園地継承による担い手の育成・定着） ▽ 人材マッチングの促進	もの	15,014	新・拡
	地域の鳥獣被害防止活動の促進（電気柵・防護柵購入補助、捕獲活動補助等）		25,263	拡充
	地場農産物等のブランド力の強化	もの	8,382	
	農業国際交流の推進（ベトナム社会主義共和国からの研修生受入れ）		3,638	新規
	笠間焼作家の育成支援（若手陶芸作家への貸工房提供等）	もの	3,956	新規
	陶芸によるタイ王国との交流促進（タイ王国陶芸家研修生受入）	もの	1,063	
	笠間焼産地振興の展開	もの	14,002	
	日本一の栗の産地づくりの推進（品質・商品・体制の確立）	もの	31,654	
	農業生産基盤の整備・保全（押辺・安居地区、大淵地区、石井・来栖地区）		5,136	
	観光振興の推進（広域観光・インバウンド観光の強化）	もの	13,523	
	台湾交流事務所の設置（台湾からのインバウンド・アウトバウンド促進強化）	もの	16,048	新規
第5章 教育・文化	就学前教育アドバイザー配置（発達障害児等の早期発見・早期対応）	ひと	2,446	新規
	特別支援教育支援員の配置（教育的配慮が必要な児童に対する支援員配置）	ひと	38,175	拡充
	特別支援教育指導専門員の配置（教員に対する指導員の配置）	ひと	833	
	スクールソーシャルワーカーの配置	ひと	10,806	
	部活動指導員配置（体制整備に向けた検討）	ひと	-	新規
	コミュニティ・スクール推進	ひと	330	
	学力向上支援（非常勤講師の配置・チームティーチング授業）	ひと	44,392	
	寺子屋（夏季特別講座・土曜日講座・学力たしかめテスト）	ひと	6,911	
	グローバル人材育成（英語教育強化）	ひと	45,807	
	小・中学校（義務教育学校）校舎等の環境向上の推進 （全中学校校舎へのエアコン設置〔設計〕、友部第二中学校校舎老朽化対策、 みなみ学園義務教育学校校舎の老朽化対策等〔設計〕）		384,516	新規
	「かさまミュージアムバス」の運行（市内美術館等の周遊）		511	新規
	筑波海軍航空隊記念館の保存と活用	まち	19,080	
	笠間城の史跡登録の推進（継続調査・構想検討）	まち	13,454	
	明治150年記念事業（企画展の開催）		1,487	新規
	「日本一の図書館」サービスの展開 ※全国の人口8万人未満の市区の中で、第1位の貸出総数		114,611	
	いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会の開催		14,684	
東京オリンピック・パラリンピックホストタウン構想推進（機運醸成・相互交流の推進）		4,244	拡充	
スポーツ国際交流の推進（エチオピア連邦民主共和国のスポーツ国際交流員を採用したスポーツ指導）		2,971	新規	
第6章 地域づくり	ユニバーサルデザインのまちづくり推進（意識醸成・公共施設整備への反映）		404	新規
	女性の活躍応援（働き方・子育てスタイルの提案）	ひと	1,601	新・拡
	地域ポイント推進による市民活動促進（かさま健康歩イント事業との連携）	ひと	3,285	拡充
	地域活動拠点の交流拡大 （「福ちゃんの森公園」運営開始、地域交流センターともべ「トモア」・いわま「あたご」）	まち	69,956	新・拡
	移住・定住促進（お試し居住、移住体験ツアー、移住促進PR、地域おこし協力隊活動支援）	ひと	29,901	
生涯活躍のまち構想の推進（笠間版CCRC）	まち	13,908		
第7章 自治体運営	行政改革の推進（働き方改革にもつなげる業務改善・ビルド&スクラップ）		96	
	働き方改革の推進（マネジメント能力強化、人材育成推進、モバイルワークの検討、日直業務の改善見直し）		5,288	新・拡
	市財政の透明化と健全運営（財務書類の作成と分析）		3,587	
	自主財源の確保（ふるさとづくり寄付金制度の強化、市税等収納対策の強化）		44,858	拡充
	戦略的な広報活動の推進（シティプロモーションの強化）	ひと	17,164	
	公共建築物中期資産管理計画の策定（再編・最適化、長寿命化）		9,804	拡充
	既存公共ストックの有効活用（遊休市有地の売却促進）		4,211	拡充
	市役所本庁舎大規模改修の実施〔設計〕		21,973	新規
	市民センターいわま大規模改修の実施		347,619	
定住自立圏構想の推進（水戸市を中心とした広域連携） ※県央地域9市町村による医療・福祉・産業・環境・教育・地域公共交通・人材育成分野等連携	まち	3,619		

# IV. 各会計の予算額 ～平成30年度予算について～

## 一般会計

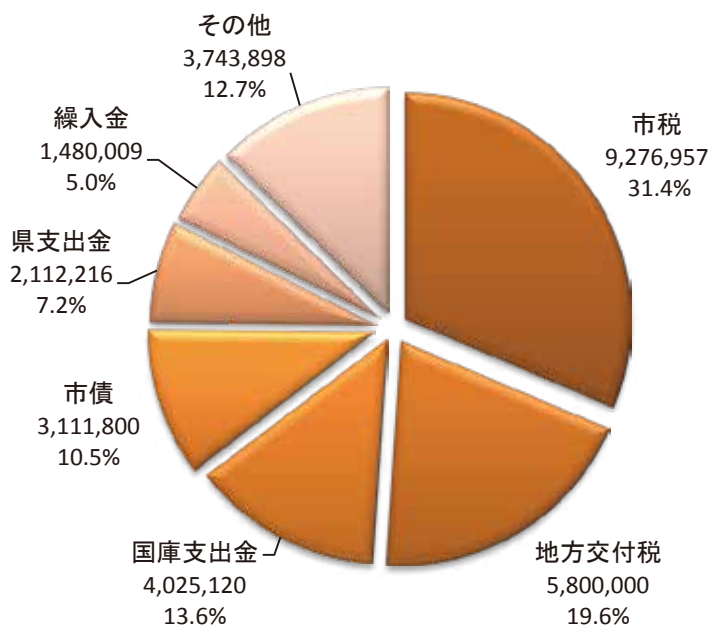
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市民税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

平成30年度予算は295億5,000万円  
前年度比14億円減

### ○歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約93億円で最も多い割合を占めています。地方交付税は58億円、国庫支出金と県支出金をあわせて約61億円を見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



区 分	主 な 内 容
市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を市町村に分配するものです。
国庫支出金 (国からの歳入)	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
市 債	事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。
県 支 出 金 (県からの歳入)	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取り崩し金です。目的に沿って使います。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

### いな吉メモ② 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が入ってきて、どのくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、事前に計画しているんだ。

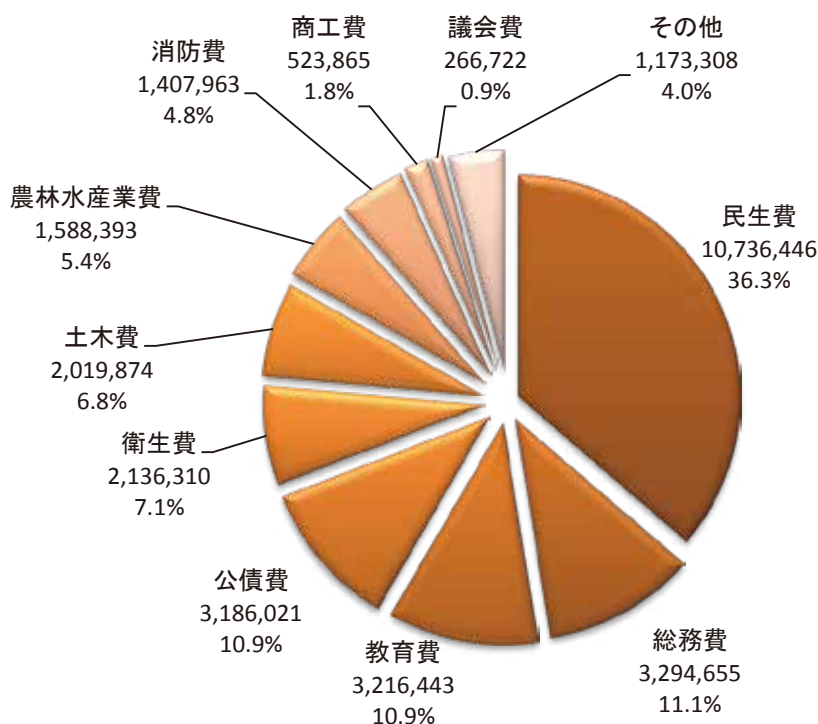
だから、予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。



### ○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかがわかるよ。  
 笠間市は福祉のための事業費（民生費）が1番多いよ。  
 今年度は、障害者自立支援給付費や民間保育所及び民間認定こども園への負担金が増えているよ。



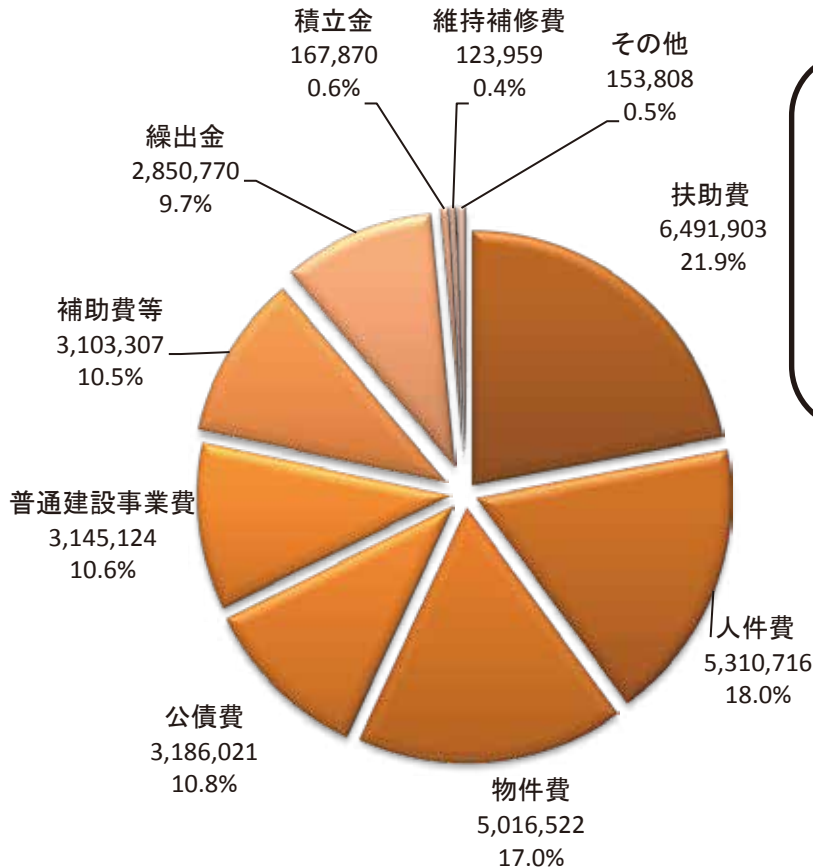
区 分	主 要 内 容
民 生 費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの事業費です。
総 務 費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの事業費です。
教 育 費	学校・図書館などの事業費，スポーツ大会などの事業費です。
公 債 費	借入金を返済する事業費です。
衛 生 費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの事業費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興のための事業費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動事業費です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
議 会 費	議員報酬や議会の運営に関する事業費です。
そ の 他	病院・水道事業等への支出金，不測の事態に備えた予備費等です。

#### いな吉メモ③ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこで色々な審議・議論がされて、決定されるんだよ。

ここでは、歳出予算を性質にしたがって区分しています。生活支援や道路整備などの事業を実施するために、どのような性質の費用がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【性質別】 (千円) 》



どんな費用を、いくら見込んでいるのかがわかるよ。笠間市は福祉などの支援のための経費（扶助費）が一番多いんだ。



区分	主な内容
扶助費	児童・高齢者・障害者・生活困窮者などへの支援のための費用です。
人件費	議員や特別職等の報酬，一般職員の給与などです。
物件費	委託や備品の購入，消耗品にかかる費用などです。
公債費	借入金の返済にかかる費用です。
普通建設事業費	建設工事にかかる費用です。
補助費等	他の会計や，個人・団体へ支払う補助金や負担金などです。
繰出金	他の会計に支出するお金のうち補助費等以外のものです。
積立金	基金などに積み立てるお金です。
維持補修費	施設等の維持管理に必要な補修費です。
その他	出資金や貸付金，予備費などです。

いな吉メモ④ 『一度決めた予算は変えないの??』

当初予算で見込んでいない事があった時，例えば災害が起こって予定外の経費がかかる場合は，それに対応した予算に変更するんだ。これを『補正予算』というんだよ。これも当初予算と同じように，市長が案を作って，市議会で決まるんだ。

# 市の予算を 家計簿に たとえると

市の予算は『億』単位と大きいため、実感がわきづら  
いかと思います。そこで、少しでもわかりやすくするた  
めに、市の予算（一般会計分）を『年収500万円の家  
庭』にたとえてみました。

市の予算と家計とでは、単純に比較できない面もあり  
ますが、1つの目安としてご覧ください。

## 収入

給料（基本給） <small>市税</small>	157万円
諸手当・ボーナス <small>譲与税，交付金，交付税</small>	131万円
パート収入 <small>使用料，負担金など</small>	30万円
親からの援助 <small>国庫支出金，県支出金</small>	104万円
銀行からの借入れ <small>市債</small>	53万円
定期預金の取り崩し <small>繰入金</small>	25万円
合計	500万円

## 支出

食費 <small>人件費</small>	90万円	義務的経費
家族の医療費や 保険料など <small>扶助費</small>	110万円	
ローンの返済 <small>公債費</small>	54万円	
電気料，ガス料， 水道料，電話料など <small>物件費</small>	85万円	
自宅の増改築や 家財道具購入など <small>普通建設事業費費，維持補修費</small>	55万円	
授業料， 自治会費など <small>補助費等</small>	37万円	
預貯金の積み立て <small>積立金など</small>	4万円	
子どもへの仕送り <small>繰出金</small>	65万円	
合計	500万円	



笠間市の義務的  
経費は全体の約  
51%を占めて  
るんだね。

## その他

預貯金 <small>基金残高</small>	260万円
----------------------------	-------

借金 <small>市債残高</small>	536万円
---------------------------	-------



# 国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



平成30年度予算は82億3,400万円  
前年度比19億9,900万円減

今年度から、国保制度改正により、財政運営の責任主体が県になることから、歳入では、国庫支出金等が減、県支出金が増となっています。歳出では、国民健康保険事業費納付金が新設されたことに伴い、共同事業拠出金等が減となっています。

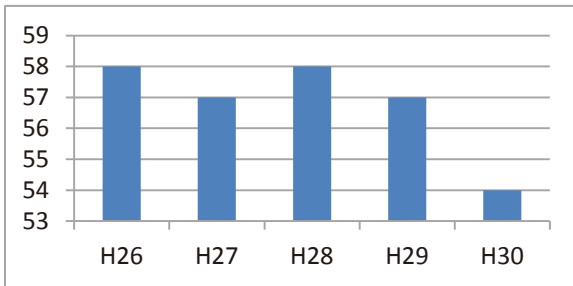


被保険者は約19,300人を見込んでいて、そのうち約4割が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。  
市の保険給付費は1人当たり約27万円だよ。

【保険給付費の推移】

(単位：億円)

○主な事業



## 国民健康保険健診事業

国保加入者の生活習慣病を予防するために、健康診査、健康指導を行います。また、健康の保持増進を図る脳ドック・人間ドック検診費用の助成を行います。

77,060千円

# 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



平成30年度予算は8億500万円  
前年度比6,200万円増

今年度は、被保険者の増にともない保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金を増で見込んでいます。

また前年同様に、人間ドック・脳ドックの検診費に対する助成を実施します。

# 介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支え合う「介護保険制度」や「介護予防事業」を運営するための会計です。  
 現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。

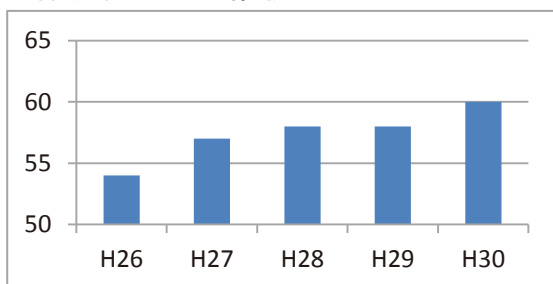


平成30年度予算は63億8,100万円  
 前年度比1億2,900万円増

今年度は、介護報酬の改定やサービス利用者の増加を見込んでおり増額となっています。また、平成30年4月にオープンする「地域医療センターかさま」を拠点として「在宅医療・介護連携支援」などに取り組み、医療・保健・福祉の多職種連携による包括ケアを推進します。さらに、認知症施策や日常生活支援総合事業による多様な生活支援サービスの充実など、介護予防と重度化防止を図ります。

介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。  
 今年度の認定者は、昨年度より200人多い、約3,900人を見込んでいるよ。  
 1人当たりの給付費は約146万円なんだ。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



## ○主な事業（保険給付費以外）

### 訪問・通所サービス事業

要支援の方及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が利用できる総合事業のサービスを実施します。（ふれあいサポート事業、いきいき通所事業、ふれあいサロン事業、元気すこやか教室事業）  
 147,572千円

### 認知症地域支援推進事業

認知症の人の家族に対する支援の推進として、認知症の方やその家族・地域の方々に参加できる「認知症カフェ」開催等を継続して行います。

747千円

# 介護サービス事業特別会計

予防給付や介護予防・日常生活支援総合事業利用のための計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防と自立支援のためのサービス調整を行います。計画書作成費を主な収入としています。



平成30年度予算は1,800万円  
 前年度比120万円減

今年度は、予防給付分と委託による総合事業分（報酬有）3,960件と、直営包括支援センターによる総合事業分（報酬無）3,120件を見込んでいます。

# 農業集落排水事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活排水をきれいにする農業集落排水事業を運営するための会計です。

公共下水道と同じく、使用料などを財源に施設の運営管理や下水道の整備などを行います。

農村地帯の数集落を1単位として、下水道施設の整備・管理をしています。



平成30年度予算は7億7,400万円  
前年度比2,100万円増

今年度も、引き続き小原地区を中心とする友部北部地区においてⅡ期地区の管路施設工事をを行います。

# 公共下水道事業会計

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする公共下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

市街地を中心とした区域の下水道施設の整備・管理をしています。



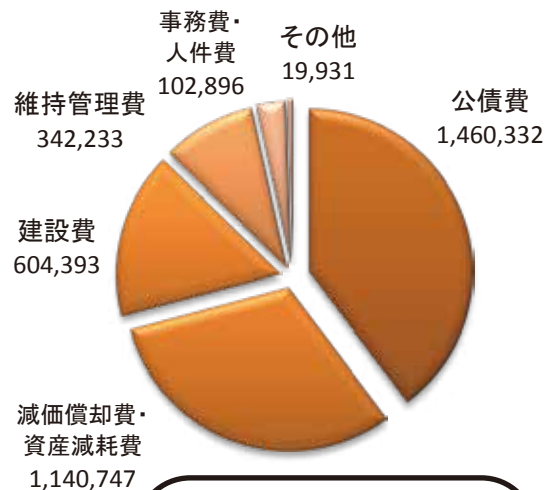
平成30年度支出予算は36億7,053万2千円

今年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計による会計処理を行っていきます。

建設費は、下水道施設の整備費に加え、長寿命化事業や管渠の布設替え等施設・設備の更新に係る工事費等も含まれており、昨年度より更新経費が増となっています。

また、浄化センターともべの汚水処理施設の増設に向けた設計業務に着手します。

○歳出内訳(千円)



## ○主な事業

### 下水道長寿命化計画推進事業

前年度に引き続き、長寿命化計画に基づく下市毛ポンプ場の改修を行います。また、管路を含めた下水道施設全体のマネジメント計画を策定します。

151,500千円



公営企業会計になって、会計の考え方が「現金主義」から「発生主義」となったため、新たに減価償却費等が計上されて増額となっているよ。

# 病院事業会計

笠間市における保健施設の中核として公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

外来診療収益等によって医療サービス費用をまかなう『収益的収支』と出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

平成30年度予算は8億5,261万7千円  
前年度比12億9,278万5千円減

平成30年4月に、地域医療センターかさまがオープンします。「語る」、「学ぶ」、「集う」をコンセプトとして日常的に「医療・健康・介護」に触れることができる場を提供します。

新しいセンターには、これまでの診療施設、訪問看護ステーションかさま及び在宅介護支援に加えて、①保健センター機能、②地域包括支援センター機能、③病児保育機能などが併設されています。

市立病院は、積極的に在宅医療を推進しているよ！



## ○主な事業

### 病児保育事業

新規

子育てと就労の両立を支援するために、事情により家庭での保育が困難な場合に、病児保育室で一時的に子どもをお預かりします。（※各種条件があります）

10,475千円

## ○位置図



## ○外来診療のご案内

診療科目		受付時間	
総合診療科	月曜日～金曜日	午前 午後	8:30～11:00 13:00～16:00
皮膚科	火曜日・木曜日	火曜日 木曜日	午前・午後 午前中のみ

\* 祝日、年末年始は休診となります。

\* 初期救急診療として、平日夜間・日曜診療を行っています。



地域医療センターかさま

\* お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034



# 水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



平成30年度支出予算は22億9,991万2千円  
前年度比1億1,670万1千円減

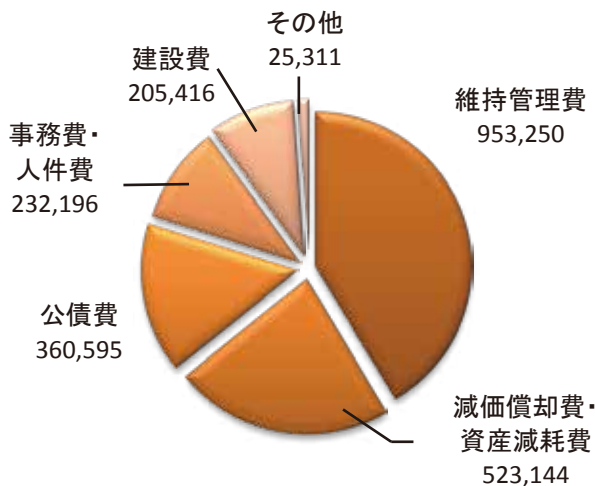
今年度は、県水受水費の減などにより減額となっています。

また、今後の水道事業運営の基盤となる『水道事業基本計画（水道ビジョン）』を策定し、水道事業の変更認可を進めるとともに、引き続き、石綿管解消のため老朽管更新工事を実施します。

## ○平成30年度業務予定量

給水件数	25,497 件
年間総給水量	6,607,667 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	18,103 m <sup>3</sup>
建設改良事業	事務費 7,756 千円 施設改良費 205,416 千円

## ○歳出内訳（千円）



年間給水量は、約660万m<sup>3</sup>。  
東京ドーム約5.3個分もあるんだよ。



## ○主な事業

### 水道施設等整備事業

老朽管を耐震性に優れた水道管へ布設替えをする工事や、配水施設の増設工事などを実施します。

160,920千円

# 工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

水道事業会計と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



平成30年度支出予算は2,891万5千円  
前年度比21万6千円減

今年度も工業用水道の安定供給が図れているため、前年同様、建設費用等の資本的支出がありません。事務費も横ばいとなっています。

## ○平成30年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	117,488 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	322 m <sup>3</sup>

## V. ビルドアンドスクラップによる廃止事業 及び内容を見直した事業等

平成30年度予算編成では、優先度が高い事務事業に重点を置いた予算配分を行い、限られた人員・財源等を効率的・効果的に配分し事務事業を進めていくために、各事業の目的や必要性、効果などを把握・評価し、見直しを行う「ビルドアンドスクラップ」を推進しました。

### ○主な廃止及び見直し事業

(単位：千円)

No.	事務事業名等	備 考	効果額※
1	まちなかガイドシステム運営事業	SNSなどの情報媒体の普及により、観光情報等が取得可能のため廃止	1,188
2	出会い創出支援事業 (地域少子化対策)	連携市町村の脱退等により、新たな成果向上に向けた見直しを図るため廃止	1,236
3	地域コミュニティ創生モデル事業	地域課題解決支援モデル事業との統合	2,200
4	土づくり運動推進事業	講演会等は一定の成果を収めたことにより廃止。機械、設備補助は、別事業及び県補助事業で概ね対応可能なため廃止	1,049
5	グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズムの推進を市農業公社に業務を委託し、土地賃借料等については、クラインガルテン事業へ移行することにより廃止	71
6	森林機能緊急回復整備事業	県の緊急間伐事業の方向性が、保育間伐から林業経営体の実施する搬出間伐に移行することにより廃止	27,290
7	新たな旅行商品開発促進事業	広域観光推進事業内で事業を展開していくため廃止	172
8	姉妹都市スポーツ交流事業	矢板たかはらマラソン大会への引率を廃止し、自主参加へ移行	37
9	本庁舎日直業務	正職員の勤務体制から一般職非常勤職員による勤務体制への変更	-
10	電子入札システム共同利用事業	電子入札時の職員入札立会事務を廃止	-
11	市民実感度調査事業	毎年実施を隔年実施	174
12	恋人の聖地(陶芸の里かさま)事業	ホームページ管理等を廃止	73
13	フィルムコミッション事業	ロケの誘致等を外部委託	-
14	文化財活用事業[文化財特別公開]	毎年度実施を2年に一度実施	318
15	各種団体支援事業	女性学級(笠間公民館)を自主講座へ移行	336

#### ビルドアンドスクラップの効果額

※効果額は前年度当初予算と比較したものだよ。

○廃止事業 17件 効果額 49,978千円  
○見直し事業 35件 効果額 12,129千円



## VI. 基金の状況

平成30年度末現在高見込額は約147億6,700万円  
対前年度比約13億300万円減

基金とは家計で例えると預貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

今年度は、一般会計の基金繰入金が約8億3,250万円の減となっています。財政調整基金繰入金が1億3,000万円の増、地域福祉基金の繰入金が約3,216万円の増となっている一方で、福田地区地域振興整備基金の繰入金が約5億720万円の減、企業立地促進基金の繰入金が約4億9,040万円の減、ふるさと創生基金の繰入金が約5,719万円の減となっていることが主な原因となっています。

また、積立額は約404万円の減となっています。地球温暖化防止等事業基金の積立金が約327万円の減となっていることが主な原因となっています。

### ○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	平成29年度末 現在高見込額	平成30年度		平成30年度末 現在高見込額
		繰入予定額	積立予定額	
一般会計	15,352	1,477	168	14,043
財政調整基金	6,612	950	0	5,662
減債基金	1,893	186	1	1,708
特定目的基金	5,365	341	167	5,191
土地開発基金	1,482	0	0	1,482
特別会計	717	0	7	724
国民健康保険 財政調整基金	51	0	0	51
介護給付費準備基金	665	0	6	671
農業集落排水事業 市債償還基金	1	0	1	2
合計	16,069	1,477	175	14,767

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金 (目的ごとに別々に設置)
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金

# 元気かさま 応援基金

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進するために、「元気かさま応援基金」を設置しています。

この基金は、笠間市を応援してくださる方々からの「ふるさとづくり寄附金」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

平成29年度にいただいた寄附金は、平成30年度の下記の事業に活用させていただく予定となっています。

## ○元気かさま応援基金活用事業一覧

(単位：千円)

事業の区分	事業名	活用金額	担当課
まちづくり支援事業	地域集会所建設（増改築）事業	1,067	市民活動課
	市民活動助成事業	1,700	市民活動課
	国際交流事業	632	市民活動課
	地域ポイント制度事業	2,360	市民活動課
	商店街活性化事業	814	商工観光課
子ども支援事業	地域子育て支援拠点事業	2,706	子ども福祉課
	予防接種事業	5,972	健康増進課
	子育て世代包括支援センター事業	711	健康増進課
芸術・文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	茨城国際音楽アカデミーinかさま事業	2,839	生涯学習課



## ○ふるさとづくり寄附金

ふるさと納税（元気かさま応援基金）は、生まれ育った「ふるさと」を応援したい、貢献したいという方々が、「ふるさと」の自治体へ寄附できる制度です。応援していただいた思いと寄附金は、各事業に大切に活用させていただきます。皆様の応援が笠間市の発展の力となりますので、ぜひ思いをお寄せいただければと思います。

皆様からの温かい応援をお待ちしています。



穴戸ヒルズカントリークラブ  
(ゴルフ場利用券)



笠間の焼栗



笠間の栗

公式サイト <http://www.city.kasama.lg.jp/page/page001672.html>



## VII. 市債の状況

平成30年度の借入額は約41億7,900万円  
 年度末現在高見込額は約544億7,100万円

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

今年度は、借入予定額が前年度当初に比べて約9億1,670万円減っています。一般会計における笠間公民館リニューアル事業債の約4億4,540万円の減や、病院事業会計における地域医療センター整備事業債の約6億6,110万円の減が主な理由となっています。

また、一般会計における借入額を市債の区分別にみると、合併特例債が16億7,000万円、普通建設事業債等に区分した緊急防災・減災事業債が180万円、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債が14億4,000万円となっています。

### ○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	平成29年度末 現在高見込額	平成30年度		平成30年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	31,670	3,112	2,982	31,800
普通建設事業債等	4,276	2	798	3,480
合併特例債	12,093	1,670	1,195	12,568
臨時財政特例債等	15,301	1,440	989	15,752
農業集落排水事業 特別会計	4,001	185	218	3,968
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	0	-	-	-
病院事業会計	1,049	0	7	1,042
水道事業会計	2,735	100	303	2,532
公共下水道事業会計	15,553	782	1,206	15,129
合 計	55,008	4,179	4,716	54,471

※公共下水道事業会計の平成29年度末現在高は特別会計の数値を表示しています。

合併特例債	合併した市町村が実施する、建設計画に基づいたまちづくり事業のために借り入れるもの
緊急防災・減災事業債	緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災・減災事業のために借り入れるもの
臨時財政対策債	普通交付税の代替措置として借り入れるもの

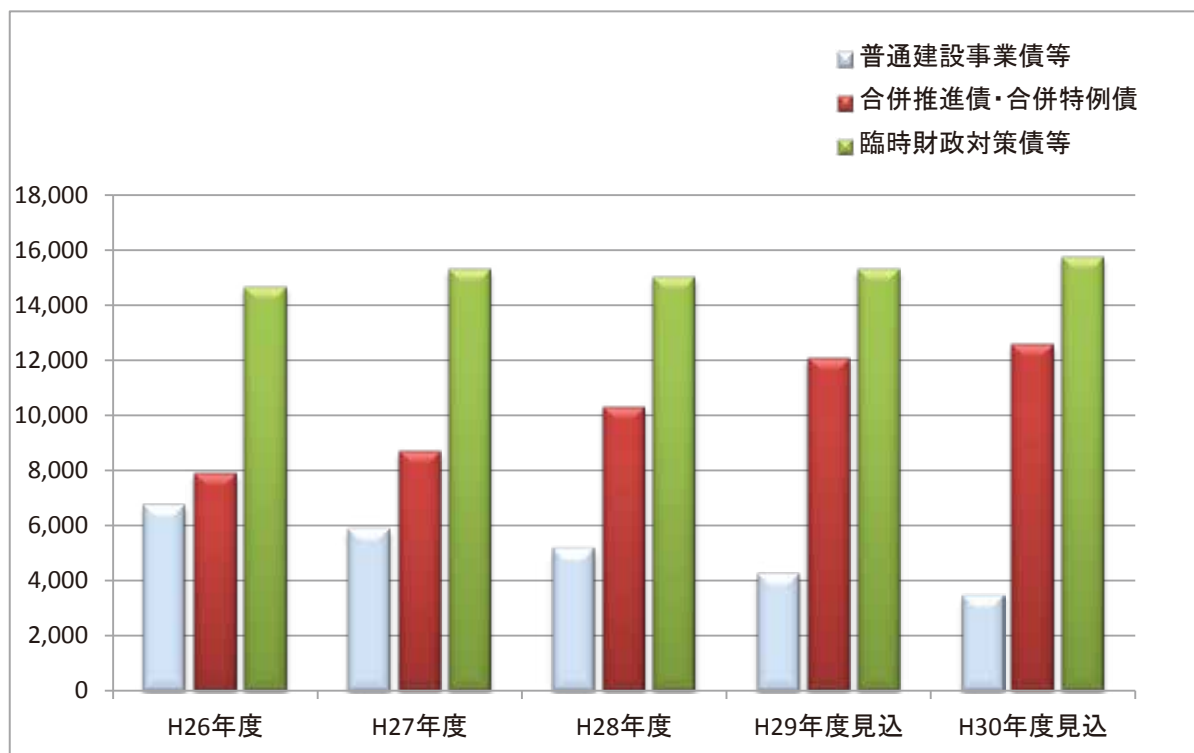
## ○年度末現在高推移表

一般会計の年度末現在高は、昨年度と比較すると約1億3,000万円の増となっています。増加の主な理由は、市民センターいわまや道の駅整備となっています。一般会計の残高が増えている一方で、特別会計や企業会計の残高は減少しているため全体として昨年度よりも減少となっています。

高利率の借入については、積極的に繰上償還をし、毎年の借り入れについては将来の財政運営を十分に見通したうえで、真に必要となる事業を厳選し、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

## 【市債の現在高推移（一般会計）】

（単位：百万円）



## いな吉メモ⑤ 『 どうしてお金を借りているの?? 』

今年度は約42億円を借り入れて、事業を実施するための資金にする予定になってるんだ。「借金をしないと事業ができないなら、事業自体を見直したほうが良いのではないか??」と思う人がいるかもしれないけれど、実は、資金が不足するから借り入れているだけじゃないんだよ。

もし、道の駅や幹線道路を整備する時にお金を借りなかったら、今年度の税金で全ての経費をまかなわなければならないんだ。でも、たまたまその施設を整備をした年だけ住んでいた人がいたら、施設を利用しないのに自分の税金が使われているようで、なんだか不合理な気がするよね。

そこで、お金を借り入れて整備して、借金を毎年返済することで、将来にわたっての利用者も経費を負担するかたちになっているんだ。



## Ⅷ. 合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって補填されるという、非常に有利な財源となっています。

笠間市は、平成29年度までに、約179億4,810万円の借り入れを予定しています。

### 【これまでの借入金額と主な活用事業】

道路整備事業 49億9,400万円

#### 主な事業

- 1級12号線  
(岩間支所～畜産試験場跡地)
- 上町大沢線
- 南友部平町線
- 来栖本戸線
- 笠間小原線(桂町工区)

都市整備事業 29億2,750万円

#### 主な事業

- 岩間駅周辺整備
- 岩間駅東大通線延伸部
- 笠間地区市街地浸水対策
- 笠間稻荷門前通り
- 友部駅周辺整備(地区道路)

学校施設等整備事業 34億630万円

#### 主な事業

- 友部中学校校舎耐震補強
- 岩間中学校校舎建設
- 笠間学校給食センター建設
- 笠間中学校武道場整備
- 小学校校舎エアコン設置

その他 66億2,030万円

#### 主な事業

- 地域交流センター整備
- 認定こども園整備
- 地域医療センターかさま建設
- 市民センターいわま整備
- 笠間公民館リニューアル

### 【平成30年度の借入予定金額と主な活用事業】

平成30年度借入予定金額 16億7,000万円

#### 主な事業

- 南友部平町線
- 来栖本戸線
- 友部第二中学校校舎整備
- 市民センターいわま整備
- 道の駅整備事業

合併特例債(建設事業)には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円が上限となっているよ。



#### いな吉メモ⑥ 合併特例債の活用

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10カ年度(笠間市では平成27年度まで)に限られていたけど、東日本大震災によって被災した特定被災地区は、期限を延長することができるようになったんだよ。

笠間市も財政上有利な合併特例債を活用するため、平成37年度まで延長したよ。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう  
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう  
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう  
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう  
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

## 笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

平成30年度「わかりやすいかさまの予算」

平成30年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL [www.city.kasama.lg.jp](http://www.city.kasama.lg.jp)



加支

